

中間南校区住民座談会報告書（案）

～今後の改善に向けた方向性について～

平成29年12月

中間市住宅都市交通対策課

○目次

1	住民座談会の実施概要	
1-1	住民座談会の目的	1
1-2	住民座談会の開催日時、場所、対象地区、参加人数	1
1-3	住民座談会における各会場でのご意見	2
1-3-1	ハピネスなかま【通谷一丁目・朝霧・鍋山・中央町自治会】	2
1-3-2	太賀二区公民館【太賀一区・二区・三区自治会地区】	2
1-3-3	通谷三区公民館【通谷二区・三区・四区自治会地区】	3
1-3-4	生涯学習センター【桜台・星ヶ丘自治会地区】	4
1-4	フレンドリー号の今後の改善に向けた取組について	5
1-4-1	分類項目1から7に対する今後の取組について	5
2	今後の方向性について	
2-1	今後の取組に向けた基本方針とその取組・期間	10
2-1-1	中間市地域公共交通網形成計画の基本方針（地域公共交通の方針）	10
2-1-2	今後の取組内容	11
2-1-3	取組期間	11
2-1-4	取組によるフレンドリーの目標	11
3	参考資料 フレンドリー号の運行実績	
3-1	運行1年目（平成27年10月から平成28年9月まで）	12
3-1-1	太賀・朝霧系統（月・水曜日運行）	12
3-1-2	通谷・桜台系統（火・金曜日運行）	13
3-2	運行2年目（平成28年10月から平成29年9月まで）	15
3-2-1	太賀・朝霧系統（月・水曜日運行）	15
3-2-2	通谷・桜台系統（火・金曜日運行）	16

1. 住民座談会の実施概要

1-1 住民座談会の目的

運行開始3年を迎えた南校区コミュニティバス「フレンドリー号」の利用促進を図るため、平成28年10月に実施した利用実態に関するアンケート調査の結果を基に、地域住民の生の声（ニーズ）を把握し、運行改善及び利用促進を図るとともに、「フレンドリー号」の運行の目標である1便あたりの利用者2人の達成に向けて、日常の買い物、通院などに外出するときの移動手段として選択してもらえるよう地域住民の意識の向上及び醸成を図ることを目的として実施いたしました。

1-2 住民座談会の開催日時、場所、対象地区、参加人数

開催日時	開催場所	対象地区	参加人数
10月18日（水）18時～	ハピネスなかま 1階会議室	通谷一丁目、朝霧、鍋山、中央町 自治会地区	20人
10月19日（木）18時～	太賀二区公民館	太賀一区、二区、三区自治会地区	13人
10月23日（月）18時～	通谷三区公民館	通谷二区、三区、四区自治会地区	34人
10月25日（水）18時～	生涯学習センター 第1研修室	桜台、星ヶ丘自治会地区	7人



フレンドリー号



中間南小学校前停留所



イオンなかま店停留所

1-3 住民座談会における各会場でのご意見

1-3-1 ハピネスなかま【通谷一丁目・朝霧・鍋山・中央町自治会地区】

（運行日数・便数の増便）

○週2日は不便、毎日運行してほしい。月と水曜日の運行では、イオンなかま店の火曜日に行けない。

（運行ルート）

○運行ルートには満足している。

（運行時間帯の改善）

○終点の中間市立病院から折り返し便の運行が早い。行きの便と折り返し便の間隔をあけると買い物をする時間を取ることができる。

○市立病院の午後は予約診療のため、ほとんど利用者がいない。午前中だけの運行でよい。

（追走運行の改善）

○追走便の到着まで30分待った。運行体制をきちんと整えてほしい。

（車両の大きさの改善・乗り心地の改善・マグネットシートの大きさの改善）

○マイクロバス車両がよい。

○マグネットシートでは、フレンドリー号かどうかわかりにくい。一目でわかるようにしてほしい。

（停留所の改善）

○通谷電停停留所は、西鉄バス停留所の横にあるため、待っている人がどちらを利用するかわからない。

○イオンなかま店停留所の位置がわからない。また、ベンチがないので不便。

（その他・運行方法の改善など）

○高齢者の利用が多いため、より親切なサービスをお願いしたい。

○ハピネスなかまの送迎バスと連携して、無駄に走らないようにしてほしい。

○連休のときの周知方法はどのようにしているのか教えてほしい。

○お試し券を配布して、新規の利用者を呼び込んでどうか。

○国からの運行補助はどのようになっているのか。

○近隣市町村の予約制運行などの事例を取り入れながら、よりよいものに改善してほしい。

○座談会は、自治会ごとなどもっと利用者に近い場所で開催してほしい。

1-3-2 太賀二区公民館【太賀一区・二区・三区自治会地区】

（運行日数・便数の増便）

○通院に利用したくても運行日と診察時間が合わない。

○複数台の車両を使って、7時から15時台までの運行便数を増やしてはどうか。

○月・水曜日運行だと、水曜日の運行が終わってから月曜日の運行まで4日間空くので不便。

○1日の便数を減らして、毎日運行してはどうか。

（運行ルートの改善）

○JR 中間駅まで運行してほしい。

（運行時間帯の改善）

- 1 便目の中間市立病院の到着時刻をもっと早くしてほしい。
- 通院利用のため、午前便を増やして、午後便を減らしてはどうか。

（車両の大きさの改善・乗り心地の改善・マグネットシートの大きさの改善）

- タクシー車両に知らない人と乗ることを敬遠する人がいる。10 人乗りの車両で運行してほしい。
- フレンドリー号であることがわかりにくい。一目でわかるように工夫してほしい。

（停留所の改善）

- イオンなかま店の停留所について知られていない。もっと宣伝してほしい。

（その他・運行方法の改善）

- 免許返納したときに利用したいので継続して運行してほしい。
- 中間南校区以外の地区でコミュニティバスは運行するのか。
- もっと宣伝をしてほしい。（口コミの宣伝も重要だと思う。）
- 地域の利用者の声を今後の運行に活かしてほしい。

1-3-3 通谷三区公民館【通谷二区・三区・四区自治会地区】

（運行ルートの改善）

- 通谷三区には、歩行者専用道路（7 時～9 時）があり停留所がない。ルートを改善できないか。
- 利用者のいない停留所をなくして、運行時間を短縮してはどうか。
- ルートを分けて各地区から早く目的地に行くような改善をしてほしい。
- 通谷二区から通谷団地口が太賀・朝霧系統と重複している。重複しないルートに改善してほしい。
- 中間南小学校前と通谷四区第一公園停留所の利用が少ないのは、西鉄バス停留所が近くにあるため利用者がいない。
- 高齢者の居住分布を把握して、運行ルートを検討してほしい。

（運行時間帯の改善）

- 便ごとの運行間隔を 15 分あけるともっと利用しやすくなる。

（追走運行の改善）

- 遠く離れた停留所まで行って、満員で利用できず、追走便を待つなら西鉄バスを利用する。

（車両の大きさの改善・乗り心地の改善・マグネットシートの大きさの改善）

- タクシー車両とフレンドリー号の見分けがつきにくい。
- 大きな車両になると利用者が増えると思う。テスト運行をしてはどうか。
- 車高の高い大きな車は、乗降しにくく、特に降車時に転倒する危険がある。

（その他・運行方法の改善など）

- 長い時間の乗車と 200 円を支払って通谷電停に行くよりは、西鉄バスを利用する。
- 100 円の割引運賃をやめて、運賃を 150 円に統一すると利用者が増えるのではないか。
- 利用者が少なければ、予約制の運行を検討してはどうか。
- 市の負担が年間 200 万円は多すぎる。福祉に利用してほしい。
- 他市の運行方法を参考にしたり、フリー乗降区間を設定して利便性を向上してはどうか。

（運行ルートの改善）

- 桜台から通谷方面を回って通谷電停に行くので、遠回り感がある。
- 各地区を回るルートよりも各地区から直行するルートになると利用しやすくなる。

（運行時間帯の改善）

- 高齢者は 15 時以降外出をほとんどしなくなるため、午前中に運行便数を充実させてはどうか。

（車両の大きさの改善）

- 以前利用していたが、膝がわるくなり車高の低い車には利用できなくなった。
- タクシー車両から大きな車両への変更はできないか。

（停留所の改善）

- 停留所がわかりにくい。

（その他・運行方法の改善など）

- フレンドリー号の運行が知られていない。
- 近くにマックスバリュがあり、買い物には利用していない。
- 遠回りして 200 円のフレンドリー号よりは、早くて 170 円の西鉄バスを利用する。
- 今は利用していなくても、今後利用する必要がでてくるため、継続して運行してほしい。
- 高齢者に対して、運転手さんはどこまで対応していただけるのか。
- もっとフレンドリー号の宣伝を行うとよい。
- 乗車体験ツアーを自治会で実施したい。
- 通院で利用したとき、運転手さんの対応が非常によかった。
- 今回の意見をまとめて、住民の目に届けてほしい。
- 将来まで継続して運行できるように、実現できるところから改善してほしい。

1-4 フレンドリー号の今後の改善に向けた取組について

中間南校区住民座談会では、のべ74名が参加し、フレンドリー号がよりよい地域の移動手段となるよう貴重なご意見を多数いただきました。今回、ご意見を整理するにあたり、下記のような項目で分類を行いました。平成28年度に実施した利用実態に関するアンケート調査と今回の中間南校区住民座談会でのご意見を基に、改善に向けた検討を行います。

分類項目	ご意見の内容
1	運行ルートの変更
2	運行日数・便数の改善
3	運行時間帯の改善
4	追走運行便の改善
5	車両の大きさ・乗り心地・車両表示の改善
6	停留所の改善
7	運行方法の改善

今回の中間南校区住民座談会のご意見を上記の7つの項目に分類いたしました。

1-4-1 分類項目1から7に対する今後の取組について

(1) 分類項目1 運行ルートの改善

運行ルートの改善では、通谷三区自治会のように停留所がない地区や当初要望していた場所に設置できなかった地区から停留所設置場所の新規設置や見直しを求めるご意見をいただきました。停留所を設置する場所は、国土交通省はもちろん、福岡県警、地権者など関係する方との調整、また道路交通法上の決まりがあり、道路運送法に基づく「地域公共交通会議」での協議を経て、国土交通省に届け出を行いますので、すぐに新規設置や見直しを行うことができるわけではございません。そのためまずは、利用者がほとんどいない停留所の見直しに取組、その見直しを進める中で、停留所がない通谷三区自治会については、午前7時から午前9時まで歩行者専用道路として、子どもたちの安全確保のために車両の通行を規制されていることを重視し、規制されている区間を通らずに、運行するルート上に停留所設置ができる場所はないか検討し、地域住民の方が利用しやすい停留所を検討いたします。

また、現在の運行ルートは、中間南校区各自治会を隈無く回っているため、1便の運行時間が40分間と非常に遠回り感があり、できるだけ早く通谷電停や市立病院につけるよう、ルートの分割や直行便を求めるご意見、さらにJR中間駅までの運行を求めるご意見をいただきました。ルートの分割については、現在主に1台の車両を1人の運転手さんが運行しているため、車両や人員が同時に必要となるルートの分割は非常に困難です。直行便とJR中間駅まで運行については、フレンドリー号の導入当初に定めた基本方針の1つに既存の公共交通機関の利用促進を定めており、西鉄バス中間線と競合してしまうことが懸念され、共存共栄できるよう幹線道路は西鉄バス、高所地区に

ある住宅団地内はフレンドリー号など役割分担をすることが重要と考えています。今後は、利用者がほとんどいない停留所を見直したり、底井野校区コミュニティバス「なかよし号」のような予約型乗合タクシー導入、西鉄バスとフレンドリー号の連携など、他市町村で取組む事例を参考として中間南校区に適したルートを検討いたします。

【分類項目1 運行ルートの改善に対する取組内容】

- ① 利用者のいない停留所の見直し、及び地域の実情に適した運行ルートの検討
- ② 予約型乗合タクシーの検討
- ③ 西鉄バスとフレンドリー号の連携の検討

(2) 分類項目2 運行日数・便数の改善

運行日数・便数の改善では、週2日運行ではなく毎日運行を求めのご意見や複数台の車両を使用して7時から15時台の便数を増便するご意見をいただきました。現在の週2日運行では、病院の予約が合わないまた、イオンなかま店の火曜日にいけない、水曜日の運行が終わったら月曜日まで4日間運行がないなど、運行日数を増やすご意見を多くいただく中で、1日の運行便数を減らして、毎日運行する意見もありました。

運行日数と便数については、1便あたりの利用者が1.0人前後と非常に少ない状況であるので、すぐに運行日数と便数を増やすことは、フレンドリー号への市の負担額が多いと感じている方がいる中では、非常に困難です。まずは、効率的な運行を目指して、便数を増やさず、空き便の割合が多い便をどのようにするのか検討し、無駄のない運行を目指す必要があります。

このように効率的な運行を目指す中で、中間南校区に適した運行について、定時定路線で、毎日運行した場合の経費や便数を増やした場合の経費、そして予約型運行に転換した場合の経費も含め検討いたします。

【分類項目2 運行日数・便数の改善に対する取組内容】

- ① 空き便を見直し、効率的な運行の検討
- ② 定時定路線運行の経費と予約型運行の経費の比較検討

(3) 分類項目3 運行時間帯の改善

運行時間帯の改善では、午前中に運行時間帯を集中させ、1便の到着時刻を市立病院の受付開始時間に合わせるとのご意見を多くいただきました。その他には、便ごとの間隔を空けて、買い物の時間をとれるようにしてほしいというご意見をいただきました。

運行時間帯の改善では、まず、空き便の状況を勘案して、どの時間帯を運行すると利用者が多いか検討する必要があります。その状況をみながら、便ごとの間隔についても、運転手さんの休憩時間を含め、どのくらいの間隔がよいのか検討いたします。

【分類項目3 運行時間帯の改善に対する取組内容】

- ① 運行間隔や空き便を見直し、効率的な運行の検討

（４）分類項目4 追走運行便の改善

追走運行便の改善では、追走車両の迅速な運行を求めのご意見をいただきましたので、運行する事業者には、通常車両はもとより、追走車両の運行体制を整えるよう周知しております。

【分類項目4 追走運行便の改善に対する取組内容】

- ① 運行体制の管理徹底

（５）分類項目5 車両の大きさ・乗り心地・車両表示の改善

車両の大きさ・乗り心地・車両表示の改善では、5人乗りの車両であるため、知らない方と一緒に乗ることに抵抗があること、乗車定員がいっぱいで乗れず、追走運行便を最初から待つことに抵抗があって利用を控えていることなど、5人乗りの車両からもっと大きな10人乗りのような車両に変更し、一目でフレンドリー号が運行していることがわかるようになると、利用者が増えると思うので、試験的でも大きな車両で運行するとよいのではというご意見をいただきました。また、逆に車高の高い車両は、乗り降りにくく、降車時に転倒する危険があるというご意見もありました。

フレンドリー号の導入にあたり、10人乗りの車両と5人乗りの車両で運行した場合の初期投資額や運行経費を比較し、坂道が多く住宅団地内の狭い道路を運行するためには、5人乗りの車両の方が、日々の運行や経済的な面からみても、適していることから、タクシー車両を活用した運行となりました。運行から2年が経過した現在でも、1便あたりの利用者が1.0人前後であり、追走運行便も月に1回から2回ぐらいの運行に留まっているため、すぐに大きな車両への変更は考えておりませんが、今回、平成29年10月2日からイオンなかま店の新鮮市場入口前に停留所を新設し、利便性の向上を図っておりますので、今後の利用状況や追走運行便の回数などをみながら、運行面でも経済面でも効率のよい車両にて運行を行っています。

また、フレンドリー号の車両表示については、現在、前面ボンネット、後部ドア両面にマグネットシートを貼って運行しております。フレンドリー号は、効率的な運行を行うため、既存のタクシー車両を活用して運行しており、フレンドリー号の車両だけ塗装をすることはできませんが、別の方法でフレンドリー号が住民の移動を支える手段として、地域内を運行していることを周知できるように取組みます。



フレンドリー号



車両表示（マグネットシート）

【分類項目5 車両の大きさ・乗り心地・車両表示の改善に対する取組内容】

- ① 運行状況进行分析し、運行面・経済面からみてもっとも効率のよい車両の検討
- ② 車両表示の明確化・周知の検討

（6）分類項目6 停留所の改善

停留所の改善については、停留所がわかりにくいというご意見やイオンなかま店の停留所が知られていないので、もっと周知すべきというご意見がありました。

現在、住宅団地内の停留所につきましては、お住まいの方のご厚意により宅地の壁に時刻表を掲示し、歩道上には停留所のサインをつけております。停留所の位置や運行時刻を周知するため、毎年運行マップを中間南校区約 4,900 世帯に配布してまいりましたが、引き続き、運行マップや広報なかまにて周知するとともに、近隣市町村での取組みなどを研究してまいります。



運行マップ



イオンなかま店停留所

【分類項目6 停留所の改善に対する取組内容】

- ① 運行マップ・広報なかまを活用した周知及び近隣市町村の取組の研究

（７）分類項目７ 運行方法の改善

運行方法の改善では、運賃について１００円の割引運賃をやめて一律１５０円に統一するご意見や決められた停留所と停留所の間であれば、フリーに乗降できるようにする区間を設けて利便性を向上させるご意見、一度利用してもらうためにお試し券を配布するご意見、予約制運行を検討してはどうかというご意見がありました。また、ハピネスなかま送迎バスとの関係や、運休のときの周知方法、国土交通省からの補助金に関する事など、継続して運行を求めるご意見がありました。

フレンドリー号は、平成２５年１１月に中間南校区１２自治会の総意による要望書が提出されたことにより、運行が実現した決められた時間に決められたルートを実行する定時定路線型の乗合タクシーです。中間南校区の坂道が多く、高低差のある地形的な特徴や６校区の中でもっとも高齢化率が高かった状況などから乗合タクシーを実行するモデル地区として、国土交通省から乗合事業の経営許可を得たタクシー事業者が運行する路線として、国土交通省から市が補填する額の約２分の１の補助を得る中でスタートいたしました。今後も運行を行うタクシー事業者と連携し、運行体制の管理徹底、安全運行に努め、悪天候で運休するときはこれまでどおり防災無線を活用して迅速に周知いたします。しかしながら、運行開始後の２年間、１便あたりの利用者が１．０人前後と利用者１人あたり１，０００円を超える負担をしている中では、２００円の運賃を安くすることやお試し券を多くの方に配布することは導入の際に定めた基本方針であります継続性・経済性・安全性の確保からも困難であり、このまま利用者が少ない状況であれば、路線の廃止を検討せざるを得ません。そのような状況にならないよう同じく導入のときに定めた基本方針であります高所地区・交通不便地区住民の移動の足の確保に努めるため、なかよし号や近隣市町村で取組む予約制運行やさまざまな運行方法を研究し、中間南校区の皆さんの要望により実現したフレンドリー号を皆さんとともに育て、より利便性のある移動手段を継続的にそして安全に提供できるよう、地域公共交通会議をはじめ市の関係各課、そして関係者と検討してまいります。

【フレンドリー号を導入するときに定めた基本方針】

- ① 既存の公共交通機関との利用促進（連携）
- ② 継続性・経済性・安全性の確保
- ③ 高所地区・交通不便地区の移動の足（手段）の確保
- ④ 地域住民からの要望

【分類項目７ 運行方向の改善に対する取組内容】

- ① 利便性のある移動手段を継続的に安全に提供できるよう予約制運行や近隣市町村の取組などを地域公共交通会議や市関係各課・関係者と検討

2. 今後の方向性について

2-1 今後の取組に向けた基本方針とその取組・期間

2-1-1 中間市地域公共交通網形成計画の基本方針（地域公共交通の方針）

○中間市地域公共交通網形成計画

中間市地域公共交通網形成計画とは、公共交通の将来像及び今後の展開方策を示した地域公共交通の基本となる計画で、平成28年3月に策定いたしました。

（1）公共交通の課題

- ①中間市西部の公共交通空白地区への対策
- ②中間市東部の公共交通不便地への対策検討
- ③西鉄バス中間線をはじめとする路線バスの利用促進
- ④公共交通ネットワークとしての利便性向上による利用促進

（2）今後の方策

- ①公共交通不便地の解消
- ②中間市の公共交通ネットワークの強化
- ③中間市の交通まちづくりに対する市民の意識向上

上記の4つの課題への対策として、3つの方策に取り組むため、下記の基本方針を設定。

【地域公共交通の基本方針】

体系的な交通ネットワークを整備するとともに、利便性の向上、交通環境の整備により周辺地域との交流及び都市内の円滑な移動を支えるネットワークの構築



地域公共交通ネットワークの構築

2-1-2 今後の取組内容

分類 項目	今後の取組内容
1	運行ルートの改善 ① 利用者のいない停留所の見直し、及び地域の実情に適した運行ルートの検討 ② 予約型乗合タクシーの検討 ③ 西鉄バスとフレンドリー号の連携の検討
2	運行日数・便数の改善 ① 空き便を見直し、効率的な運行の検討 ② 定時定路線運行の経費と予約型運行の経費の比較検討
3	運行時間帯の改善 ① 運行間隔や空き便を見直し、効率的な運行の検討
4	追走運行便の改善 ① 運行体制の管理徹底
5	車両の大きさ・乗り心地・車両表示の改善 ① 運行状況を分析し、運行面・経済面からみてもっとも効率のよい車両の検討 ② 車両表示の明確化・周知の検討
6	停留所の改善 ① 運行マップ・広報なかまを活用した周知及び近隣市町村の取組の研究
7	運行方法の改善 ① 利便性のある移動手段を継続的に安全に提供できるよう予約制運行や近隣市町村の取組などを地域公共交通会議や市関係各課・関係者と検討

2-1-3 取組期間

平成29年度から平成32年度まで（中間市地域公共交通網形成計画の計画期間）

2-1-4 取組によるフレンドリー号の目標

フレンドリー号の目標（計画策定時から目標年度（H32年度））

	（計画策定時）		（H32年度）
① 1便あたりの利用者数	0.91人／便	→	2.0人／便
② 利用者1人への市の負担金額	1,495円	→	569円
③ 中間南校区地区住民（65歳以上）のお出かけ回数の増加	3.3回／週	→	3.4回／週
④ 公共交通利用割合の増加	20%	→	22%

3. 参考資料 フレンドリー号の運行実績

3-1 運行1年目（平成27年10月から平成28年9月まで）

3-1-1 太賀・朝霧系統（月・水曜日運行）

①年間の運行状況

月	運行便数 (便)	利用総数 (人)	運行経費 (円)	運賃収入 (円)	市の補てん額 (円)	運行1便あたりの 平均利用者数 (人/便)	利用者1人あたりの市の財政負担 (円/人)
計	808	879	1,185,215	160,900	1,024,315	1.09	1,165

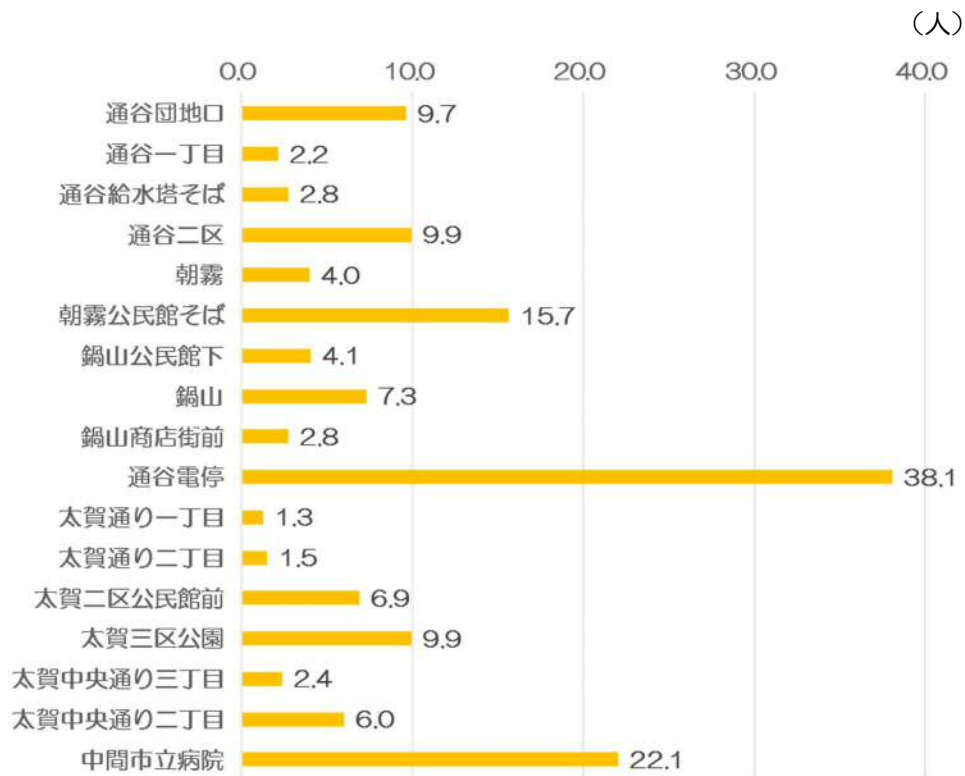
②各月の1便あたりの利用数と1人あたりの市負担額



③各停留所月平均乗降者数（太賀・朝霧系統）

停留所名称	乗車人数	降車人数	各停留所乗降者計	各停留所月平均乗降者
通谷団地口	71	45	116	9.7
通谷一丁目	14	12	26	2.2
通谷給水塔そば	21	12	33	2.8
通谷二区	43	76	119	9.9
朝霧	17	31	48	4.0
朝霧公民館そば	107	81	188	15.7
鍋山公民館下	25	24	49	4.1
鍋山	33	55	88	7.3
鍋山商店街前	5	28	33	2.8
通谷電停	276	181	457	38.1
太賀通り一丁目	9	6	15	1.3
太賀通り二丁目	14	4	18	1.5
太賀二区公民館前	36	47	83	6.9
太賀三区公園	70	49	119	9.9
太賀中央通り三丁目	23	6	29	2.4
太賀中央通り二丁目	42	30	72	6.0
中間市立病院	73	192	265	22.1
計	879	879		

※各停留所月平均乗降者数は、平成27年10月から平成28年9月までの12か月間の平均。



3-1-2 通谷・桜台系統（火・金曜日運行）

①年間の運行状況

月	運行便数 (便)	利用総数 (人)	運行経費 (円)	運賃収入 (円)	市の補てん額 (円)	運行1便あたりの 平均利用者数 (人/便)	利用者1人あたりの市の財政負担 (円/人)
計	816	778	1,292,098	148,400	1,143,698	0.95	1,470

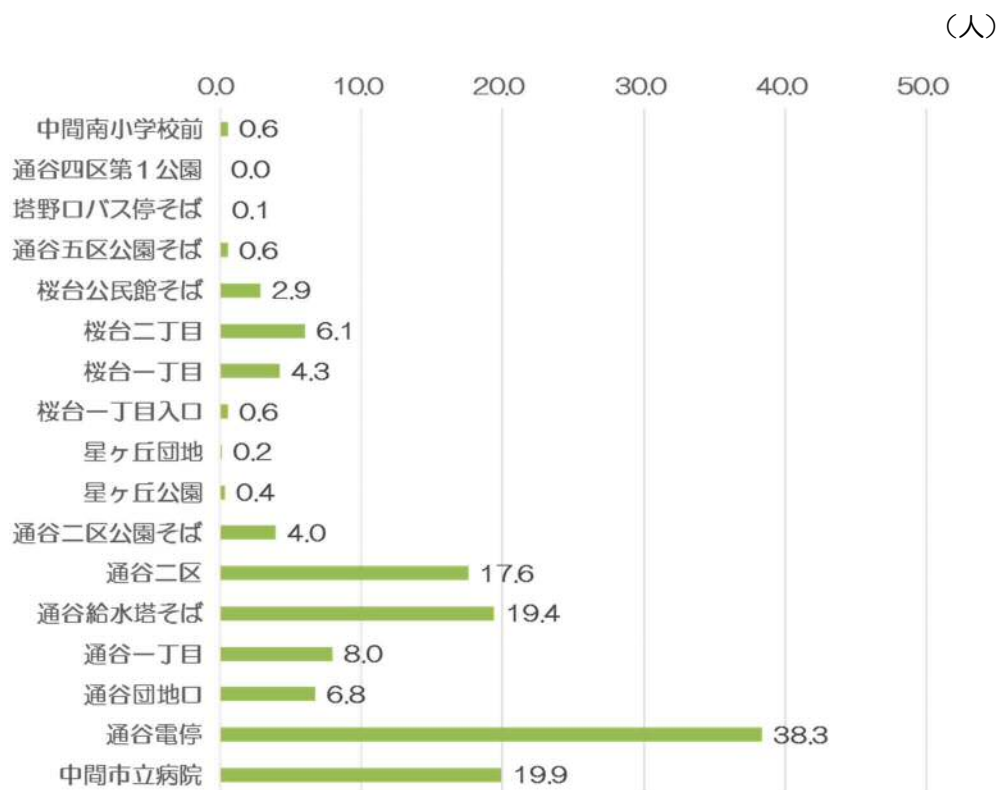
②各月の1便あたりの利用数と1人あたりの市負担額



③各停留所月平均乗降者数（通谷・桜台系統）

停留所名称	乗車人数	降車人数	各停留所乗降者計	各停留所月平均乗降者
中間南小学校前	3	4	7	0.6
通谷四区第1公園	0	0	0	0.0
塔野口バス停そば	1	0	1	0.1
通谷五区公園そば	5	2	7	0.6
桜台公民館そば	28	7	35	2.9
桜台二丁目	60	13	73	6.1
桜台一丁目	31	20	51	4.3
桜台一丁目入口	4	3	7	0.6
星ヶ丘団地	2	0	2	0.2
星ヶ丘公園	3	2	5	0.4
通谷二区公園そば	19	29	48	4.0
通谷二区	112	99	211	17.6
通谷給水塔そば	91	142	233	19.4
通谷一丁目	62	34	96	8.0
通谷団地口	45	36	81	6.8
通谷電停	276	184	460	38.3
中間市立病院	36	203	239	19.9
計	778	778		

※各停留所月平均乗降者数は、平成27年10月から平成28年9月までの12か月間の平均。



3-2 運行2年目（平成28年10月から平成29年9月まで）

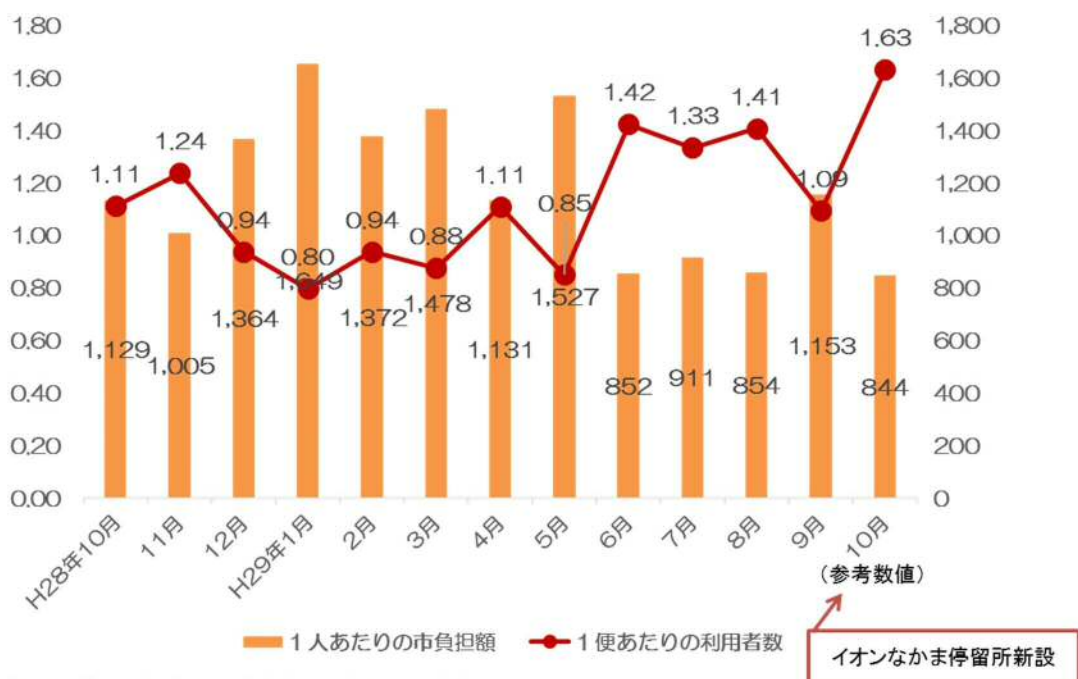
3-2-1 太賀・朝霧系統（月・水曜日運行）

①年間の運行状況

月	運行便数 (便)	利用総数 (人)	運行経費 (円)	運賃収入 (円)	市の補てん額 (円)	運行1便あたりの 平均利用者数 (人/便)	利用者1人あたりの市の財政負担 (円/人)
計	816	889	1,199,930	172,100	1,027,830	1.09	1,156

【参考数値】							
月	運行便数 (便)	利用総数 (人)	運行経費 (円)	運賃収入 (円)	市の補てん額 (円)	運行1便あたりの 平均利用者数 (人/便)	利用者1人あたりの市の財政負担 (円/人)
平成29年10月	72	117	121,358	22,600	98,758	1.63	844

②各月の1便あたりの利用数と1人あたりの市負担額

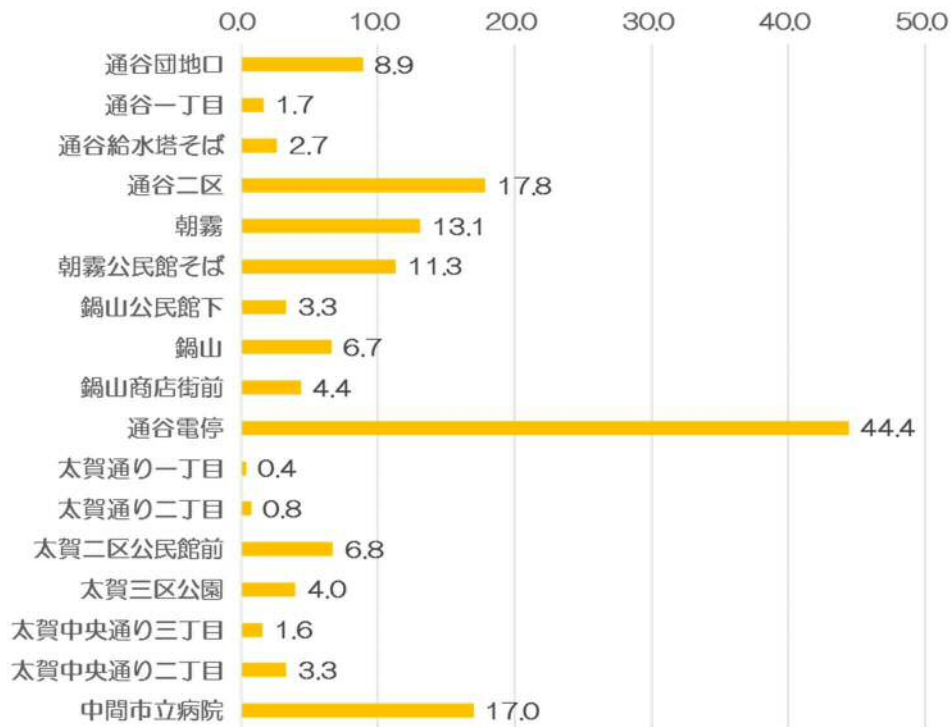


③各停留所月平均乗降者数（太賀・朝霧系統）

停留所名称	乗車人数	降車人数	各停留所乗降者計	各停留所月平均乗降者
通谷団地口	52	55	107	8.9
通谷一丁目	9	11	20	1.7
通谷給水塔そば	20	12	32	2.7
通谷二区	85	129	214	17.8
朝霧	63	94	157	13.1
朝霧公民館そば	67	69	136	11.3
鍋山公民館下	28	12	40	3.3
鍋山	47	33	80	6.7
鍋山商店街前	16	37	53	4.4
通谷電停	339	194	533	44.4
太賀通り一丁目	2	3	5	0.4
太賀通り二丁目	7	2	9	0.8
太賀二区公民館前	41	40	81	6.8
太賀三区公園	34	14	48	4.0
太賀中央通り三丁目	18	1	19	1.6
太賀中央通り二丁目	20	20	40	3.3
中間市立病院	41	163	204	17.0
計	889	889		

※各停留所月平均乗降者数は、平成28年10月から平成29年9月までの12か月間の平均。

(人)



3-2-2 通谷・桜台系統（火・金曜日運行）

①年間の運行状況

月	運行便数 (便)	利用総数 (人)	運行経費 (円)	運賃収入 (円)	市の補てん額 (円)	運行1便あたりの 平均利用者数 (人/便)	利用者1人あたりの市の財政負担 (円/人)
計	808	836	1,277,499	156,300	1,121,199	1.03	1,341

【参考数値】							
月	運行便数 (便)	利用総数 (人)	運行経費 (円)	運賃収入 (円)	市の補てん額 (円)	運行1便あたりの 平均利用者数 (人/便)	利用者1人あたりの市の財政負担 (円/人)
平成29年10月	72	100	117,380	18,800	98,580	1.39	986

②各月の1便あたりの利用数と1人あたりの市負担額



③各停留所月平均乗降者数（通谷・桜台系統）

停留所名称	乗車人数	降車人数	各停留所乗降者計	各停留所月平均乗降者
中間南小学校前	0	3	3	0.3
通谷四区第1公園	0	0	0	0.0
塔野口バス停そば	0	0	0	0.0
通谷五区公園そば	1	1	2	0.2
桜台公民館そば	24	11	35	2.9
桜台二丁目	15	37	52	4.3
桜台一丁目	24	16	40	3.3
桜台一丁目入口	4	1	5	0.4
星ヶ丘団地	0	2	2	0.2
星ヶ丘公園	1	3	4	0.3
通谷二区公園そば	23	37	60	5.0
通谷二区	182	216	398	33.2
通谷給水塔そば	62	132	194	16.2
通谷一丁目	24	14	38	3.2
通谷団地口	41	36	77	6.4
通谷電停	400	215	615	51.3
中間市立病院	35	112	147	12.3
計	836	836		

※各停留所月平均乗降者数は、平成28年10月から平成29年9月までの12か月間の平均。

